光、最先端をめざして
IWASAKI

照明器具取扱説明書

屋外用アイライプホルダ

保管用

■製品仕様 (投光器) ホルダの器具形式により表のランプ・接続具・ガードをお選びください。(仕上色にご注意ください)

器具形式	K0(/W)	S0(/W)	HS0(/W)
適合ランプ	RS(F)90～180WH ARF90～135W BHRF160WH LDR18N(L)-H/BK(W)	RS(F)270～450WH BHRF250～500WH	HRF200～400X ※1 NHR110～360LS ※1
接続具	F1・F2・F3(/W)～F7(/W)・F10(/W)・F11		
ガード	GK4(LDRﾗﾝﾌﾟは使用不可)	GS6 GHS3 (BHRF500WHの時)	GHS3

防水性能	防雨形	使用場所	屋外の一般的な場所	使用温度範囲	－5～35℃

適合ガードとの組合せにて使用されることをお勧めします。
※1　ご使用にあたってはランプに適合する安定器をお選びください。(LEDアイランプ、白熱灯を除く)

■製品仕様 (看板灯) ホルダの器具形式により表のランプ・接続具・ガードをお選びください。(仕上色にご注意ください)

器具形式	K0(/W)-L14	S0(/W)-L14	HS0(/W)-L14
適合ランプ	RS(F)90～180WH ARF90～135W BHRF160WH LDR18N(L)-H/BK(W)	RS(F)270～450WH BHRF250～500WH	HRF200～400X ※1 NHR110～360LS ※1
接続具	F8(/W)・F9(/W)・F13(/W)・F14(/W)・F15(/W) ※2		
ガード	GK4(LDRﾗﾝﾌﾟは使用不可)	GS6 GHS3 (BHRF500WHの時) GHS4 (BHRF500WHの時)	GHS3 GHS4

防水性能	防雨形	使用場所	屋外の一般的な場所	使用温度範囲	－5～35℃

適合ガードとの組合せにて使用されることをお勧めします。
※1　ご使用にあたってはランプに適合する安定器をお選びください。(LEDアイランプ、白熱灯を除く)
※2　F15(/W)はK0(/W)-L14のみ適合です。他のホルダには適合しません。

●器具の配線工事は必ず工事店、電器店(有資格者)などがおこなってください。
資格のない人の配線工事は法律で禁止されています。

施工者様への安全に関するご注意

・お読みになったあとは、この「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。

⚠警告 「取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています」

●施工は取扱説明書に従って正しくおこなってください。
施工に不備があると、発火、感電、落下のおそれがあります。
●器具銘板や取扱説明書に記載された適合ランプを
安定器との組み合わせを確認のうえ、ご使用ください。
不適合の場合、発火、ランプ破裂のおそれがあります。
●電源接続は、取扱説明書に従って確実におこなって
ください。発火、感電のおそれがあります。
設置・施工

●振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの
発生する場所、湿度85%を超える場所、
塩害地域などでは使用しないでください。
発火、感電、落下のおそれがあります。
使用環境

●アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に
おこなってください。
アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
(D種(第三種)接地工事)
設置・施工

●器具の改造・部品の変更はおこなわないでください。
感電・火災・落下の原因となります。
保守・点検

●器具は点灯中高温となり触れるとやけどのおそれが
あるため、人が容易に触れる恐れのない所で
使用してください。
使用環境

⚠注意 「取扱いを誤った場合、傷害を負うおそれまたは物的損傷が発生するおそれがある内容を示しています」

●この器具は、一般屋外用(防雨形)です。
それ以外の場所では使用できません。
※浴室など湿度の高い場所には使用しないでください。
●風の強い場所(風速20m／s以上)にアーム取付として
ご使用の場合は別売のアーム補強金具を使用して、
ワイヤー等により壁面・看板面へ堅牢に支持固定して
ください。
不備がありますと、器具落下の原因になることがあります。
●器具銘板や取扱説明書に記載された適合する種類
・ワット(w)数のランプをご使用ください。
適合以外のランプを使用すると異常発熱・ランプ短寿命
・防水不良の原因となることがあります。

●質量に耐える場所に確実に取付てください。
取付けに不備がありますと落下の原因となることがあります。
●器具(ランプ)の定格電圧と電源電圧(定格±6%)は、器具
取付の際に必ず確認してください。誤って使用すると、
火災・焼損・ランプ短寿命の原因となることがあります。
●器具に100cmを超えて積雪する可能性のある場所では、
使用しないでください。そのまま使用されますと器具の落下
・絶縁不良・感電の原因となることがあります。
(使用する場所は必ず除雪をおこなってください。)
●草や木で覆われる場所、器具の周囲に枯葉やゴミのたまる
場所では使用しないでください。
火災の原因となることがあります。
●冠水の恐れのある場所では、使用しないでください。
浸水・感電・火災の原因となることがあります。

EM001025-1

投光器の場合　（取扱説明書内の図は一部省略・抽象化してあります。）

●器具の取付・接続

・器具の取付けは、当社指定の接続具をご使用ください。(製品仕様を参照してください。)
口出線を、接続具に通し固定ねじで確実に固定してください。（図1）
※固定ねじは、接続具先端(図中矢印部) に締め付けてください。
接続具をホルダにしっかり押し込み固定ねじを締め付けると矢印の位置に固定されます。
・圧着スリーブ等を使用して、口出線に電源線を確実に接続してください。
その際、自己融着テープ等により確実に絶縁処理をおこなってください。
また、端末部付近の絶縁体露出部は、絶縁テープなどで覆い保護してください。（図2）
（電気設備技術基準・解釈　及び　内線規定を参照してください。）
・接地端子ねじからD種（第三種）接地工事をおこなってください。（図3）

図1

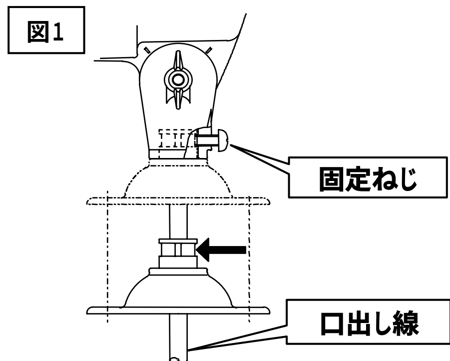
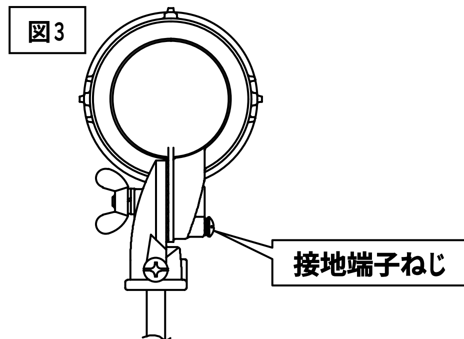


図2



図3



・接続具は、質量に耐える場所に確実に取付けてください。取付けに不備がありますと、落下の原因となります。
・屋外でご使用の場合には、カップリングの電線引出口が水平より下向きになるように取付けてください。（図4-1）
水平より、上向きになるように取付けますとカップリングの電線引出口から雨水が浸入する原因となりますので
逆向き取付けはしないでください。（図4-1）
※壁付などで水平に取付ける場合は、雨水が浸入するおそれがありますので、ホルダと接続具との固定部分
および接続具と取付面の隙間にシリコンコーキングなどの防水処理をしてください。
・照射角度を調整する際は角度目盛り（45°間隔）を目安にしてください。（図4-2）
・照射面との距離は、1.5m以上離してご使用ください。（図5）
また、照射面および器具の周囲には、燃えやすい物を置かないでください。火災の原因となります。

図4－1　水平より下向きにセット

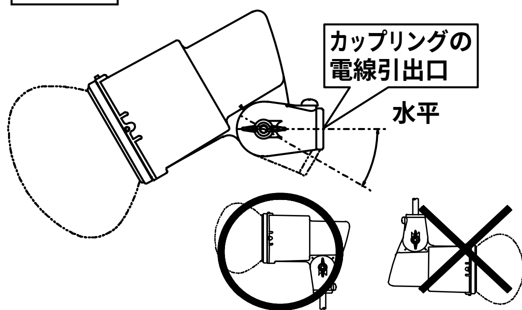


図4－2　角度調整目盛り

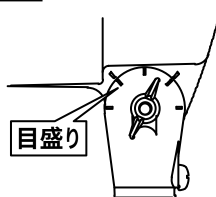
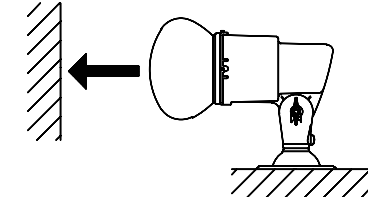


図5　1.5m以上離して使用

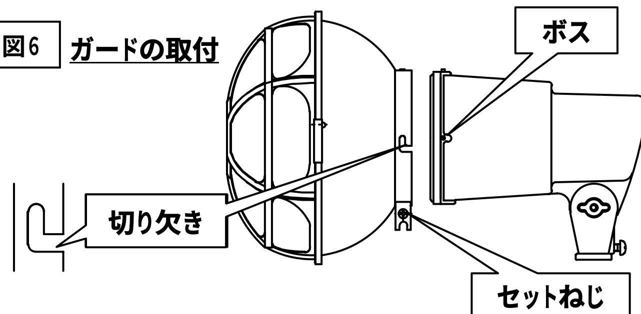


●ガードの取付（図6）

・ガードの3か所の切り欠きに、ホルダー先端の
ボス3ヶ所を差し込み回転させてから、セット
ねじを確実に締め付けてください。

※照射方向によっては、ガード内部に雨水が溜まり、
器具内部に浸水する恐れがありますので、
十分ご注意ください。

図6　ガードの取付



●ランプの取付（図7）

・適合ランプ以外のランプは、使用できません。
火災・ランプ落下・浸水の原因となります。
・ランプの口金と、ソケットがかみ合いましたら、ランプを手前に
引きながら右に回して最後まで確実に取付けてください。

※ランプを強く引き過ぎるとランプの破損やソケット脱落の恐れが
ありますので、ランプとパッキンの隙間は5mmを目安にしてく
ださい。過度にランプを引き過ぎないようにご注意ください。

・ランプとパッキンが完全に密着していることを確認してください。
密着に不備がありますと、浸水・感電の原因となります。

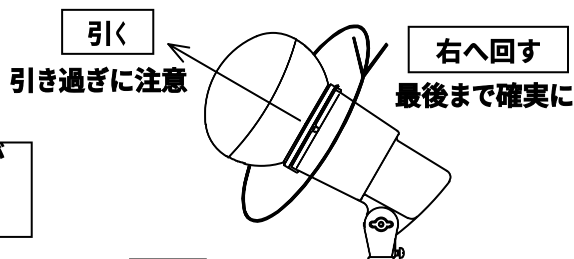


図7　ランプの取付

看板灯の場合　（取扱説明書内の図は一部省略・抽象化してあります。）

●器具の取付・接続

・器具の取付けは、当社指定のアームをご使用ください。（製品仕様を参照ください。）
ホルダの口出線をアームの先端から挿入し、アームにホルダ固定ねじで確実に固定してから、更にゆるみ止めナットで確実に固定してください。（図8）
※固定ねじは、アーム先端(図中矢印部）に締め付けてください。
ホルダにアームをしっかり押し込み、固定ねじを締め付けると矢印の位置に固定されます。

・圧着スリーブ等を使用して、口出線に電源線を確実に接続してください。
その際、自己融着テープ等により確実に絶縁処理をおこなってください。
また、端末部付近の絶縁体露出部は、絶縁テープなどで覆い保護してください。（図2）
（電気設備技術基準・解釈　及び　内線規定を参照してください。）

・接地端子ねじからD種（第三種）接地工事をおこなってください。（図9）

図8

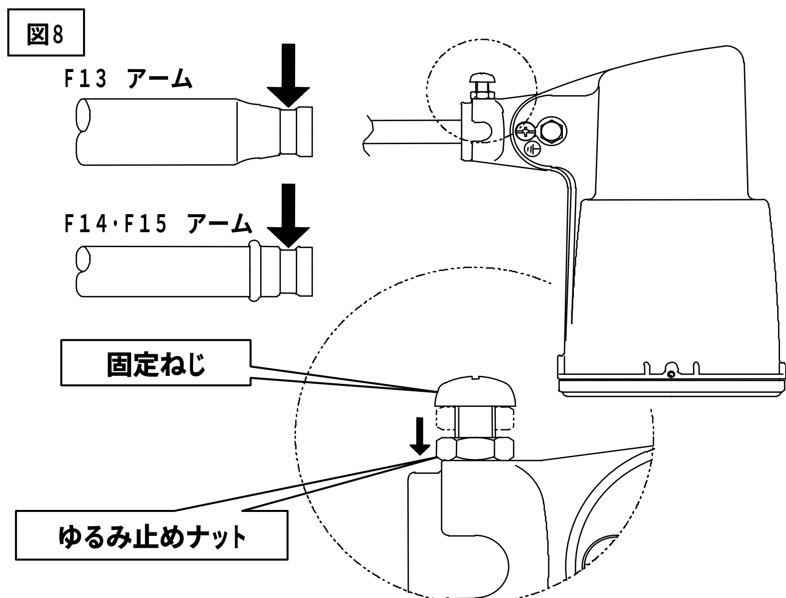
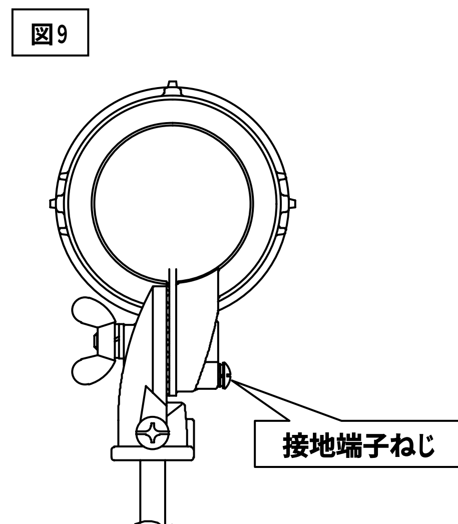


図9

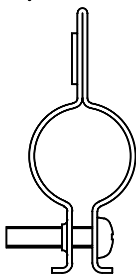


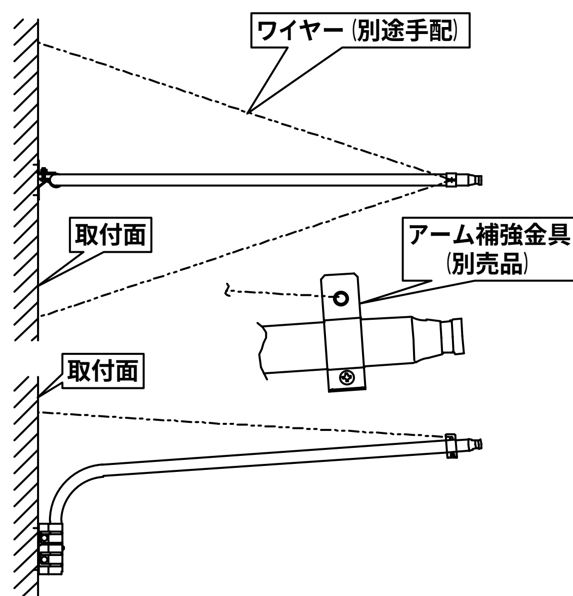
・アームは、質量に耐える場所に確実に取付けてください。取付けに不備がありますと、落下の原因となります。
（詳細は、アームの取扱説明書を参照ください。）

・風の強い場所に、アームを取付ける場合には別売のアーム補強金具を併用してワイヤー等（別途手配）にて壁面（看板面）へ堅牢に支持固定してください。

アーム補強金具（別売品）

形　式	適合アーム
F13-B	F13
F14-B	F14 , F15





・屋外でご使用の場合には、カップリングの電線引出口が水平より下向きになるように取付けてください。（図4-1）
水平より、上向きになるように取付けますと、カップリングの電線引出口から雨水が浸入する原因となりますので逆向き取付けはしないでください。

・照射角度を調整する際は角度目盛り（45度間隔）を目安にしてください。（図4－2）
※アームを看板上部に取付けますとアームが下側に傾きカップリングの電源引出口より雨水の浸入のおそれがあります。
アームとカップリングの隙間はシリコンコーキングしてください。
（詳細は、アームの取扱説明書を参照ください。）

●ガードの取付　（投光器の場合を参照ください）

●ランプの取付　（投光器の場合を参照ください）

お客様への安全に関するご注意

・ご使用の前にこの「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
・お読みになったあとは、この「取扱説明書」を必ず保管してください。又、ランプ交換や器具清掃時などにも
　安全のために再度内容をご確認ください。

⚠ 警告 「取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています」	
●ランプ点灯中および消灯直後の器具は高温になっていますので触らないでください。やけどのおそれがあります。 保守・点検	●器具を改造しないでください。発火、感電、落下のおそれがあります。 保守・点検
●ランプ交換は器具銘板や取扱説明書に記載された適合ランプを、安定器との組み合わせを確認のうえ、ご使用ください。発火、ランプ破裂のおそれがあります。 保守・点検	●万一、煙が出たり、異臭がするなど異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店または工事店にご相談ください。異常のまま使用すると感電、発火のおそれがあります。 修理

⚠ 注意 「取扱いを誤った場合、傷害を負うおそれまたは物的損傷が発生するおそれがある内容を示しています」

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてからおこなってください。感電・やけどの原因となることがあります。
●ランプ交換の際は、取扱説明書に従って確実におこなって ください。不備がありますと、火災・感電・浸水・落下の原因となることがあります。
●照明器具には寿命があります。
●設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯（JIS C 8105-1 解説による。）
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、感電などに至るおそれがあります。
●寿命で不点灯になったランプを交換する際には、ランプパッキンを同時にお取り替えください。ランプパッキンに亀裂や劣化が生じると浸水による絶縁不良の原因となることがあります。

■ランプパッキンの保守について

ランプパッキンは補修用交換部品です。定期的に点検をおこない交換してください。
保守部品のランプパッキンは、ホルダの形式をご確認の上、弊社の最寄の営業所までお問い合わせください。

保 守 上 の ご 注 意

●器具の清掃について
・器具の汚れは、やわらかい布に中性洗剤を浸し、よくしぼって拭いてください。
・シンナーやベンジン等の揮発性のものや酸性・アルカリ性の 洗剤で 拭かないでください。
　材質の劣化による変質・変色の原因となることがあります。
・直接殺虫剤をかけないでください。変色・変質の原因となります。

●ランプ交換について
・ランプ交換は、器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認のうえ、おこなってください。
　寿命で不点になったランプを交換する際には、ランプパッキンを同時にお取り替えください。

保証期間　この照明器具の保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。ただし、安定器は3年間です。
ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

交換部品　岩崎のランプをご使用ください。

お客様へ　ランプ交換など保守のために、下記施工記録表をご確認のうえ、適切な保守部品をお求めください。
なお、安全のため保守作業は、できるだけ施工者にご依頼ください。

■保守のための記録

施工者様へ

安全で便利な保守のために、各欄に記入しお客様に渡してください。

お客様へ

ランプなどの交換の際は、適切な部品をお求めください。
なお、安全のため保守作業はできるだけ施工者にご依頼ください。

施工記録表

工　事　名	年　月　日取付
施 工 者 名	TEL
器 具 形 式	（　　台）
電　　源	
ブレーカー番号	

■商品に関するご相談窓口

お問い合わせの際は、器具銘板(形式)または施工記録表をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

【ＣＳセンター】電話番号 048(554)1124　ＦＡＸ 048(554)7445

お問い合わせ受付時間　月曜～金曜/9:00～17:00（土曜・日曜・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）

※電話番号等、変更になる場合があります。 ホームページでご確認ください。



岩崎電気株式会社
本　社 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16
馬喰町第一ビルディング
電話番号 03(5847)8611(大代表)
ＦＡＸ 03(5847)8645
http://www.iwasaki.co.jp/